

国産ベビーシューズの製造設備のおよび改善活動による増産体制の

近年、世界中のお客様に支持をいただいているミキハウスグループのベビーシューズ(日本製のバルカナイズ製法)の生産ラインを増設し、かつ工法の改善活動により、より多くのお客様にお届けできる増産体制を目指しました。

事業取り組みの経緯

1990年代から2000年代初頭にかけて国内の多くの靴メーカーが中国に進出する中、当社はミキハウスグループの生産拠点として、ベビーシューズの国内生産を続けてきました。2010年の上海万博を機に、同グループの日本製ベビーシューズの人氣に火が付き、現在も国内消費者のみならず、訪日外国人観光客や海外の通販サイトにおいて高い人氣を誇っています。その需要に応えるため、当社は増産体制構築を目指しました。



靴本体とゴム底を熱処理固着する加硫缶

実施内容

ものづくり補助金を活用して設備一式を導入し、生産ラインを2ライン体制に増設しました。当社の靴の製造は「バルカナイズ製法」と言われる製法で、硫黄を加えたゴム底と靴の本体を、釜の中で加硫圧着する独自の技術です。専用の設備や熟練の職人技術が必要とする製法であるため、国内でも生産できる企業はごくわずかですが、それにより、歩行の未発達な赤ちゃんをサポートする高品質なベビーシューズが生まれます。

事業取り組みの成果

生産性が向上し、2つの生産ラインを使い分けることにより、メッシュやキャンバス素材の定番シューズと、デザ

新設 確立へ



補助金活用のポイント！

ミキハウスグループのベビーシューズは中国大手の通販サイトで2018年11月11日の「独身の日」に約10万足を販売しました。この製品もバルカナイズ製法により当社で製造しています。

海外のお客様の認知や支持が広まり、更なる需要拡大に備えた増産体制整備に本補助金を活用しました。



つちやゴムでのシューズ製造の様子がムービーになっています。
ものづくりに対する姿勢と想い
Craftsmanship for babies. ファーストシューズ篇
作成元である三起商行(株)の承認の上で掲載しております。



求める事業パートナー及び支援策

1つは、技術者との出会いや、育成です。靴製造は、デザイナーが描いた二次元のイメージを三次元に変換したり、パーツ化するために再び二次元に分解したり、再度、三次元の製品として組み立てたり、といったノウハウをもった技術者を必要としています。また、今後ますますの増産体制の構築のため、部品としての縫製供給先の充実を希望しています。

赤ちゃんの足にフィットする靴に
仕上げるためには、設備だけではありません。
当社のベテラン職人の「匠の技」をはじめ、
独自のノウハウの積み重ねが
息づいています。

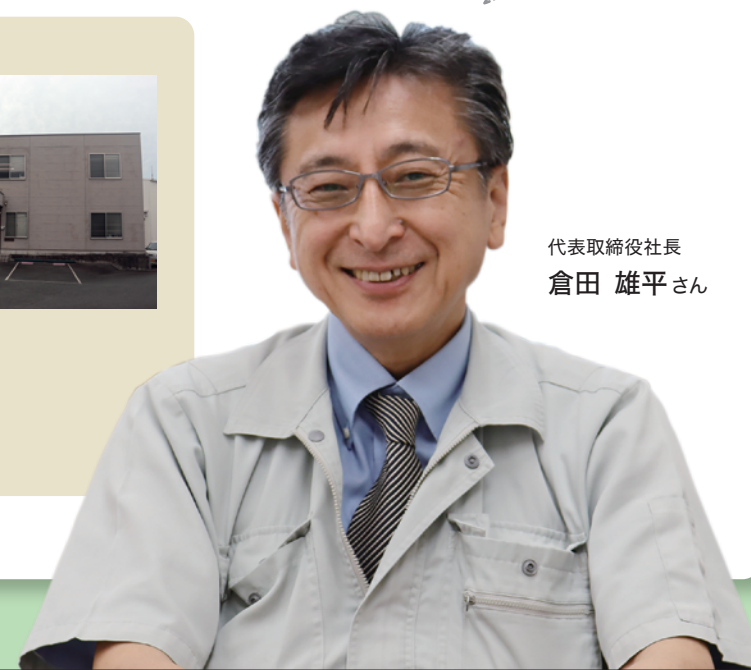


靴成型用糊の乾燥コンベアの様子

COMPANY PROFILE

つちやゴム 株式会社

代表者名 代表取締役社長 倉田 雄平
設立年月 1949年8月12日
所在地 〒861-3103
熊本県上益城郡嘉島町
井寺431番地21
TEL 096-237-0138
FAX 096-237-0129
URL <http://www.tsuchiya-r.co.jp/>
資本金額 3000万円
従業員数 92人
業種 ゴム製造業



代表取締役社長
倉田 雄平さん

ベビーシューズ用靴型